

## 先進技術を活用した生産体制で付加価値率向上 オープンイノベーションを推進し新製品を開発

創業以来、一貫して絶縁材料であるマイカ製品の製造に取り組み、専門メーカーとしての地位を固めている。天然鉱石「マイカ」は「雲母」とも呼ばれる希有材料で、これをもとに水素燃料電池、電気自動車、リチウムイオン電池等の次世代クリーン化をはじめ多様な領域で不可欠な複合部材を提供。絶えざる技術高度化に取り組み、大学等と連携しオープン・イノベーションを推進。原料調達から部材提供等に至るバリューチェーンを構築し、顧客・社内従業員と一丸となり持続可能な未来に向けた価値創造を行なっている。

所在地 福岡県中間市中間1丁目8番7号  
電話/FAX 093-245-0881/093-245-1681  
URL <https://okabe-mica.co.jp/>  
代表者 代表取締役社長 岡部 安三

設立 1932年  
資本金 10,000万円  
従業員数 204人



### 先進技術を活用した生産体制に刷新し付加価値20%アップを実現

2018年に最新加工設備を積極導入（ルーター加工機、マシニングセンター、レーザー加工機など）。N/Cデータ活用、目視での外観検査を画像検査装置導入による無人化、各種センサーを用いた異常検知など、設備のIoT化促進によって付加価値20%の向上を実現。また、管理・生産のシステム面でも、工場建替時に工程間導線の最適化を実施。基幹システム再構築による作業進捗見える化の実現と合わせ、多品種少量・短納期注文への対応強化を行い、時間を売価に換算（付加価値化）可能な体制を構築。



画像検査装置

### 社内プロジェクトチームによる「DX推進」により、ものづくり経営の変革を実践中

2013年より社内IT化プロジェクトチームを組成。5年かけて独自の基幹システム（生産管理・在庫管理・受注・購買および原価）に刷新。業務フローの見直しを進めた。これにより生産計画業務50%の削減を実現。業務プロセスのなかでは特にバーコード活用、各種実績データ分析機能の強化を図り、生産リードタイム短縮や適正在庫管理といった効率化を実現。現場へのタブレット導入による入力効率向上等、ものづくり現場の業務のDXを推進中。バックオフィス業務でもRPAの導入を含めたDXプロジェクトを推進中。



バーコード入力

### 絶えざる研究開発をベースに顧客と協働したオープン・イノベーションを推進

顧客ニーズの解決のため数多くの開発イノベーションに取り組んでいる。研究開発力は同社の競争力の源泉であり、大学・企業との共同開発を通じたオープン・イノベーションを推進するなど、さまざまな素材との高機能複合材料の可能性を日々探求している。得意分野の電気絶縁体に関する高度なノウハウを生かし、新しい分野である半導電性製品の開発に成功するなど、「新しいコトづくり」による価値創造を実践。開発力を強みに、顧客のイノベーション・パートナーとしての不可欠の役割を果たしている。



回転機用コイルに使用される様々な製品群  
半導電性製品